2008年10月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。詳細は電話などでお問い合わせ下さい。予約も受付中！

月(Mon)	火(Tue)	水(Wed)	木(Thu)	金(Fri)	土(Sat)	日(Sun)
※は閉室の印です		1 12:00昼食会(300円) pmはるかぜ講座 学習サポート	2 am漢字講座 pmソーシャルスキルズトレーニング 学習サポート	3 am農業体験(長井) pm映画を観よう 学習サポート	4 ※	※ 5 スタンプラリーのお手伝い (モトスミ・オズ通り)
6 am英会話講座 pm山形農業体験説明会 学習サポート	7 amＰＣ講座 学習サポート	8 amPC講座 12:00昼食会(300円) pm乗馬講座 学習サポート	9 福引のお手伝い（上町銀座） 学習サポート	10 学習サポート	11 山形物産市 (はるかぜ書店前) ※ 1:00ウィル	12 ※
13 ※	※ 14 学習サポート	※ 15 学習サポート	※ 16 学習サポート	※ 17 学習サポート	※ 18 不登校進路相談会 1:00未来・クロス	※ 19 13～16:30 横須賀市総合福祉会館
20 am英会話講座 pmヨガ講座 学習サポート	21 amＰＣ講座 pm読み聞かせ講座 学習サポート	22 【社会見学】 am藍染め&バームクーヘンinたまりば(約750円) 学習サポート	23 amアクセサリ講座 pmコラージュ 学習サポート	24 pmホビー 学習サポート	25 ※	26 ※ 3:00 DAD
27 am英会話 pmヨガ ハロウィン10～パーティ 秋の大収穫祭（上町商盛会）はるかぜ書店前 学習サポート	28 am英語講座 pmはるかぜ講座 学習サポート	29 12:00昼食会(300円) pmはるかぜ講座 学習サポート	30 am数学講座 pmラッピング講座 学習サポート	31 am農業体験(長井) pm販売士講座 学習サポート	※ 11/1 山形物産市(どぶ板バザール) よこすか産業まつり(三笠公園)	※ 11/2

今月の主なイベント （記事・別紙参照）

５日　携帯電話スタンプラリー実験のお手伝い
　川崎・元住吉　モトスミ・オズ通りにて
９～１１日　福引のお手伝い　横須賀　上町銀座商店会
１４～１８日　山形農業体験会　山形県　松藤タイチョーのラフランス畑他
２７～２９日　秋の大収穫祭（福引のお手伝い）　横須賀　上町商盛会　はるかぜ書店前

★11月1～2日山形物産市 3日地産地消市（どぶ板バザール）
★11月2～3日よこすか産業まつり（三笠公園）

来月の予定

編集後記

「講演デビュー」しました。拙い講演、また悪天候にも関らずお出でいただきました皆様には誌面を借りて厚く御礼申し上げます。
　実は前日にパワーポイントのデータが消失していることに気付き、作り直し、何とか当日には間に合うことが出来ました。ただでさえ実力が無いうえ準備不足が加わり、皆様の求めていた話が出来なかったことと思います。まだまだ若輩につき、至らない所をご承知いただければ幸に存じます。　（島田徳隆）

2008年(平成20年)
10月1日　発行

アンガージュマンとはフランス語で社会参加という意

Le Engagement

Engagement Yokosuka

ＮＰＯ法人アンガージュマン・よこすか
発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4　電話：046-801-7881
http://engagement.angelicsmile.com/　発行責任者：滝田衛　編集責任者：島田徳隆

第56号

第5回就労支援ネットワークフォーラム　9月19日(金)
ひきこもりの若者起業に挑戦 なぜ働くの？自分らしく働く

商店街の中で生きる

台風が近づく９月１９日(金)夕方,横浜西口かながわ県民センター２階ホールで第５回就労支援ネットワークフォーラムが開催された。２００人収容のホール、主催者としては参加者数が心配だったが、仙台等県外参加者数名や当事者親子等２０人あり、関係者も入れて１１６名集まり、盛況の会となった。事務局：山川幸子の司会で会は進行した。

主催者を代表して理事長：滝田衛の挨拶(冊子ご参照下さい)で始まり、県商工労働部産業活性課長：坂井雅幸氏からも主催者挨拶を頂いた。３週間ほど前にアンガージュマンを訪問した(当日は日曜日でお休みでしたが)とのこと。「商店街の理解と協力」を基調に、本法人の商店街での活動をコミュニティビジネスとして高い評価を下さった。

続いて第一部、本法人事務局長：島田徳隆が、はるかぜ書店を中心とする上町就労支援センターの活動を通して、引きこもりの若者たちへの支援の実態を語った。講演デビューにもかかわらず落ち着いた語り口、生き辛さを抱えた若者たちと共に商店街の中で楽しく生きている事実を４５分展開した。「９９％辛い仕事だが、残り１％の楽しさがある。人と生きる喜び、商店街で生きる喜びがある」と最後に言い切り、万雷の拍手を受けた。

集まった聴衆の方々

１５分の休憩後、『ひきこもりの若者　自分らしく働く　起業』をテーマに、コーディネーター：長谷川俊雄氏(愛知県立大学准教授)は「それぞれの地域性の中で自己流を立ち上げる」視点でパネラーとの意見交換を組み立てた。県産業活性課の大居ゆう子氏はコミュニティビジネスとしてのはるかぜ書店の立ち上げ経過と課題を整理した。上町で餃子惣菜店を立ち上げる予定の大湊雄治氏は「地産地消を大切に、地域商店街の婦人部とアンガージュマンの若者との協働で進める」と起業目的を語った。中小企業診断士：為崎緑氏はるかぜ書店開店の経緯を詳細に語り、「商店街で個々の人とのつながりを作り、無理のないステップを積み上げた」成果を評価しながら「起業は難しい。リスクを背負い自分で判断する」課題があると問題提起した。小田原で若者自立塾を行い若者と暮らす福守弘文氏(NPO法人子どもと生活文化協会)は「明けても暮れても農業。毎日の生活を続けることで考えよりも働くことを願うようになる」若者像を訴え、「若者のためにもスタッフが起業を考える必要を感じる」と語った。

会場に意見を求めると「生活中心の取り組みの閉鎖性や暴力性」の質問に福守氏は「生活づくりは人間の基本。来るも去るも本人の自由。暴力と強制はない」と。「ひきこもりの当事者ですか？」との質問に大湊氏は「違います。優しい若者たちと理解している」と答えた。最後に長谷川氏は「既存の選択肢ではない新たな選択肢の一つとして起業がある。これからも多面的な取り組みが必要」とまとめてくれた。

起業≒チャンス

閉会挨拶に立った就労支援ネットワーク研究委員長：小林正稔氏(県立保健福祉大学准教授)は「ＮＰＯに高尚な理念があるわけではない。地域に課題があるからＮＰＯが活動をする。現代は成果を求めるがチャンスを与えてはいない。今日から起業をチャンスと読み替えたい」と爽やかにまとめ閉会となった。

本法人スタッフ・利用者・ボランティア２０数名と他団体・県４課職員の協働の力を実感したフォーラムであった。外は雨が降り始めていた。改めてご参集いただいた皆様、県各市行政の方、関係団体の方に感謝を申し上げたい。

（理事長　滝田衛）

今月の予定

商店街とともに

上町商盛会では現在ホームページの改善に取り組んでいる。横須賀商工会議所創立８０周年記念事業の商店街ＨＰ活用スクールは各商店街のＩＴ担当者の育成が主目的だが、それを利用し、現在のＨＰをよりよいものに更新し、運用していこうという意気込みである。普段よりアンガージュマンと商店街は密接に関っているが、のみならず商店街活動の中心を担う重責である。

それだけではない。９月は８日と２０日に横浜の弘明寺商店街でのアンケート調査に協力した。中小企業診断士の為崎さんからの依頼だったが、普段いる上町とは趣の異なる商店街での業務は参加者にとって新鮮だったようだ。また、お隣上町銀座商店会より１０月９～１１日の福引のお手伝いを依頼された。従来から手伝っている上町商盛会のガラポンと手順は同様と思われるが、商店街の方々は私たちの働きにとても期待して下さっている。ありがたい話だ。５日には川崎モトスミオズ通り商店街、２７～２９日は商盛会の秋の大収穫祭がある。興味のある方、または手伝ってくださる方を大募集している。

遠慮なく御申し出いただきたい。

山形農業体験会

８月に引き続き、今年度第２回目の山形農業体験会を行います。ちなみに、今回の日程は１４～１８日の４泊５日。がっちり農作業をする予定です。作業内容は昨年同様です。松藤タイチョーのラフランス畑にて収穫作業。詳細は追って案内します。お楽しみに。

タイチョーの話では、一年を通じてリンゴ農家の仕事に従事する、その一端を体験して欲しい、とのことでしたが、一方で様々な体験も出来ればいいな、という企画です。もちろん、前回参加していない方も大歓迎！作業はがっちり行いますが、フォロー体制も万全です。アンガージュマン、山形新規就農者ネットワークを挙げて取り組みます。

ぜひとも多くの方のご参加を！

りんご園の草刈

弘明寺商店街

フリフリフリマ

青少年サポプラ 9/13

第４回フリフリフリマが開催されました。山形物産市とはるかぜ書店を出店。山形の野菜等は好評でした。昨年の品を皆さん覚えていたようで、納豆はないの？などと声をかけてくれたり…。１１～１５時という短い時間でしたが、たっぷり楽しんできました。

今回から新しい建物に移転したサポプラでの開催。やや手狭な感はありましたが、それがかえって密集度を高め、フリマの雰囲気を出しておりました。ただ飲食系(特に食事)が少なく、我々スタッフは昼食にあぶれてしまいました。終了後は各団体の代表者が集まり懇親会を行い、交流を深めました。空腹がまたビールの旨さを引き出す効果もあり…。県内の１６団体が集まったこのイベント、今後の展開にご期待下さい。　(島田徳隆)

ＥＹフリマチーム！

さかのうへのたはごと　神無月　島田徳隆

先月のたはごとで同窓会の話に少し触れたが、今月も少々触れようと思う。９月初旬に大学時代の先輩後輩、同輩に会って一献傾けた。５人という少人数でしかも数年ぶりに会うメンバーだった。しかしながら恐ろしいもので、一瞬で往時に戻ってしまうのである。ちょっと前までは学生だったという気分が抜けないでいたが、それぞれが仕事場なり家庭なりで重責を担う立場になっており、羨望の思いであった。そうはいっても私も事務局長という肩書きがついてしまい、責任の重さについては他人事ではないが。

さて、さらにたはごとで度々触れている８０年代への憧憬が具体化したことにも触れよう。大げさな言い回しで実はたいしたことないのだが、今回の集まりの三次会で新橋の「なつかしやバー(確か…)」なる狭い店に入ったのだが、そこは７～８０年代の歌謡曲が大画面で流れる素晴らしい空間だった。ある先輩は麻丘めぐみのお姫様っぷりに魅了されその後も頭を離れず、私はといえば流れる曲全てを隣のサラリーマン達と一緒に絶唱したのであった。嬉しい事にリクエストカードという素晴らしいシステムが存在し、酒を頼むのも忘れてリクエストしまくり、画面に次の曲が流れると同時に店内は異常な盛り上がりを見せる、一種異様な空間であった。これはきっと他でも流行るに違いない！！と酩酊した頭で確信を得た。これを読んだ方でどなたか、やりませんか？私は絶対毎日通いますよ！カラオケより間違いなくイイって。

親子は難しいのかな？

カウンセラーＴＡＫＩＴＡのつぶやき

ひきこもり、二十歳を過ぎ三十歳に手が届こうとする子ども達。母親の食事がまずいと食べ物を壁に投げつける。深夜お腹が空き食べ物を買いに行けとしつこく迫る。話を聞けと泣きわめき疲れ果てるまで親を離さない。ビクビクしながら生活の世話をする両親。

何時までこの関係が続く・・・。老いていく自分を感じながらため息をつく、毎日。

本当に親子関係は難しい！

親の元、家庭にひきこもる若者。親は子どもを恐怖に感じ、子どもは親の恐怖感を感じ取り愛と依存を願う。「行かないで」「離れないで」「見捨てないで」との子どもの姿に、執拗な愛、強要関係を感じてしまう親。

誰もいない夜の面談室

ジェンガ33段新記録達成！！

本当に親子関係は難しい！！

「不安」。親子共に「不安」がこの関係を強めている。現代社会は「期待」社会。親は子どもの成長を「期待」し、子どもは親の「期待」に応えようとした。結果、「期待」に応えられなかった「不安」を抱える子どもたち。親は「期待」していないと言い切るが、子どもは「期待」された言葉や態度を忘れない。誤解も錯覚も含まれるが、親の「期待」に応えようとする子どもの現実がひきこもりを促している。

本当に親子信頼関係は難しい！！

特に母親との関係は。母の分身としてのわが子、子どもとの一体化は免れない。子どもをオロオロさせる母親がそこにいる。「いつも私の傍にいて」「優しい良い子でいて」との囁きに、特に男の子はがんじがらめとなる。

親の「期待」を実現できなかった「不安」を抱える子ども。しかし「不安」を解消できるのは子ども自身。家の外で社会の中で、共に生きる仲間、友の中で生きること。今夏、２か月余をフリースペースで過ごした２人の中学生、相次いで学校へ戻る。親と家の保護から、再度社会・学校の中での育ちへ向かう。フリースペースで培った自分を肯定する力を実感して・・・。子どもはこう言う、「アンガージュマンは飽きた」と。法人の誇りだ。　(滝田衛)

アクセサリ作ってます

保護者の方へお知らせ　学習サポート・ネクスト

１０月上旬、受講生のご家庭へ「授業報告書」（年2回）を郵送致します。お子様の学習状況・今後の課題等を担当の講師よりお知らせする内容です。その後、保護者の方と直接お話できるようご希望に合わせ面談日を設けます。１０月は、公立の小・中学校は前期が終了し後期に向う時期、高校生・私学の中学生は中間テストのところもあり、英検もありと・・・

学習の充実と向上を目指していきます。　(山川幸子)

訂正とご紹介　事務局より

通信第５５号(９月１日発行)一面記事におきまして誤りがありました。
山形農業体験ツアー補助金は神奈川県県民部青少年課です。
謹んで関係者の皆様にお詫び申し上げます。
なお本法人が本年度助成等を頂いている事業を紹介します。
○「地域の活性化　働きたい若者就労支援ネットワーク事業」
・神奈川県民活動センター基金事業課
(かながわボランタリー活動推進基金21)
○「フリースペース等事業費補助金 年間行事事業 就農体験」
・神奈川県県民部青少年課
○「本屋で子どもたちに読み聞かせ事業」
・神奈川子ども未来ファンド

手まで藍に染めた人もいたとか…

お父さんとお母さんのコーナー　未来・ウィル・ＤＡＤ

未来

９月２０日に行われました。
今月は１８日(土)午後１時～。

９月１３日に行われました。
今月は１１日(土)午後１時～。

ウィル

DAD

９月２８日に行われました。
今月は２６日(日)午後３時～。